

### 第3章 対象事業実施区域及びその周囲の概況

対象事業実施区域及びその周囲における自然的状況及び社会的状況（以下「地域特性」という。）については、「第6章 対象事業に係る環境影響評価の項目並びに調査、予測及び評価の手法」の検討を行うに当たって必要と考えられる範囲を対象に、入手可能な最新の文献その他の資料により情報を把握した。

地域特性については、対象事業実施区域が位置する小川町及び隣接するときがわ町、寄居町、東秩父村（以下「関係市町村」という。）を調査対象とし、環境要素ごとに影響を受けるおそれがあると考えられる範囲を勘案して設定した。

#### 3-1 自然的状況

##### 3-1-1 大気環境の状況

###### (1) 気象の状況

###### 1) 降水量・気温・日照時間

対象事業実施区域から至近の気象観測所は、表 3-1-1-1 及び図 3-1-1-1 に示すとおり、寄居地域気象観測所（埼玉県寄居町）である。令和2年及び過去10年間の気象の状況は表 3-1-1-2 及び表 3-1-1-3 に示すとおりである。令和2年の合計降水量は1,360 mm、平均気温は14.8℃、合計日照時間は2,066.2時間であった。

表 3-1-1-1 寄居地域気象観測所諸元

観測所名	住所	北緯	東経	標高	風速計高さ	観測項目
寄居地域気象観測所	大里郡寄居町大字折原	36度6.3分	139度11.0分	128m	10.0m	・降水量 ・気温 ・風向、風速 ・日照時間

注：風速計高さは地上高を表す。

出典：気象庁ホームページ「地域気象観測所一覧」（令和2年8月 気象庁）



凡 例

- 対象事業実施区域及び関連施設
- 市町村界
- 寄居地域気象観測所

N



1:100,000

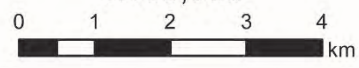


図 3-1-1-1

気象観測所

表 3-1-1-2 寄居地域気象観測所における気象の状況（令和2年）

月	降水量(mm)				気温(℃)					日照時間(h)
	合計	日最大	最大		平均			最高	最低	
			1時間	10分間	日平均	日最高	日最低			
1	92.0	49.0	7.5	1.5	4.7	10.7	-0.6	18.5	-4.5	184.0
2	8.5	5.5	3.5	1.5	5.5	11.8	-1.0	20.6	-7.3	207.4
3	91.0	38.5	6.5	2.0	8.8	15.0	2.8	26.6	-3.4	205.1
4	171.5	84.5	12.5	3.0	11.3	17.5	4.8	24.9	-0.5	229.5
5	102.0	60.0	10.5	5.5	18.4	24.6	12.7	32.4	5.5	182.9
6	211.0	71.0	22.5	9.5	22.6	27.7	18.4	34.6	15.9	146.4
7	272.5	31.5	30.0	12.0	23.4	26.9	20.9	33.1	17.1	45.3
8	25.0	11.5	26.0	11.5	28.3	35.0	23.4	39.2	20.2	260.7
9	192.0	38.5	35.5	12.5	23.0	27.5	19.9	35.7	11.5	97.7
10	191.5	57.0	6.0	1.5	15.7	20.7	11.9	27.7	4.6	113.9
11	3.0	2.0	1.0	0.5	10.8	17.4	4.7	22.4	-0.6	192.4
12	0.0	0.0	0.0	0.0	4.7	12.2	-1.9	17.4	-5.6	200.9
年間	1360.0	84.5	35.5	12.5	14.8	20.6	9.7	39.2	-7.3	2066.2

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁HP）

表 3-1-1-3 寄居地域気象観測所における気象の状況（平成23年～令和2年）

年	降水量(mm)		気温(℃)			日照時間(h)
	合計	日最大	平均	最高	最低	
平成23年	1595.0	150.5	14.0	19.9	9.0	2168.4
平成24年	1218.5	141.5	13.7	19.6	8.6	2182.8
平成25年	1105.0	96.5	14.3	20.4	9.0	2275.6
平成26年	1398.5	173.5	13.9	19.7	8.6	2272.5
平成27年	1226.0	142.5	14.6	20.1	9.7	2074.0
平成28年	1192.5	163.5	14.6	20.2	9.6	1999.2
平成29年	1238.0	118.5	13.9	19.8	8.6	2208.2
平成30年	1082.5	101.5	15.0	21.0	9.6	2283.4
令和元年	1649.0	471.0	14.7	20.5	9.5	2097.7
令和2年	1360.0	84.5	14.8	20.6	9.7	2066.2

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁HP）

## 2) 風向・風速

寄居地域気象観測所の令和2年における月別風向・風速は表3-1-1-4に、平成23年～令和2年における風向風速の年間推移は表3-1-1-5に、令和2年における月別風向頻度は図3-1-1-2に示すとおりである。

令和2年における最多風向は西北西、平均風速は1.5m/sであった。また、過去10年間に  
おける年間最多風向は西北西であった。

表 3-1-1-4 寄居地域気象観測所における月別風向・風速（令和2年）

月	最多風向	平均風速 (m/s)	最大風速及びその時の風向	
			風速 (m/s)	風向
1	西北西	1.8	10.9	西
2	西北西	1.9	8.3	北西
3	西北西	2.1	11.1	西
4	北西	2.1	9.3	北西
5	南東	1.4	6.8	北西
6	南東	1.2	5.2	東南東
7	南東	0.9	7.0	北西
8	南東	1.2	6.4	北西
9	南東	1.1	9.2	西南西
10	西北西	1.2	6.5	北西
11	西北西	1.6	8.8	北西
12	西	1.8	11.8	北西
年間	西北西	1.5	11.8	北西

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁HP）

表 3-1-1-5 寄居地域気象観測所における  
風向・風速の年間推移（平成23年～令和2年）

年	最多風向	平均風速 (m/s)	最大風速及びその時の風向	
			風速 (m/s)	風向
平成23年	西北西	1.7	11.2	西北西
平成24年	西北西	1.8	13.4	西
平成25年	西北西	1.8	15.9	北西
平成26年	西北西	1.8	11.2	北西
平成27年	西北西	1.6	11.5	北西
平成28年	西北西	1.6	11.8	北西
平成29年	西北西	1.7	11.5	西北西
平成30年	西北西	1.6	11.5	南東
令和元年	西北西	1.7	12.7	北西
令和2年	西北西	1.5	11.8	北西

出典：「過去の気象データ検索」（気象庁HP）

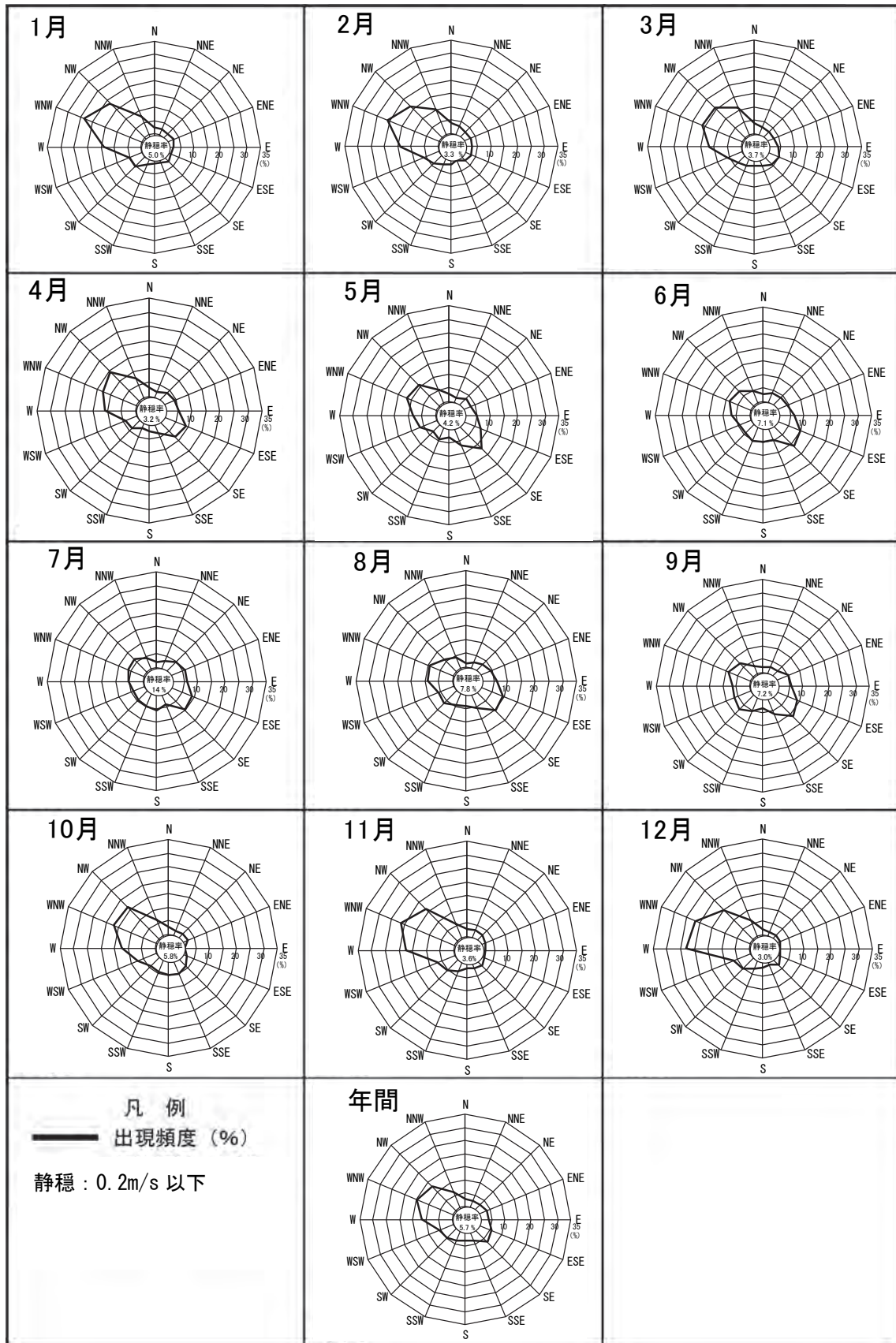


図 3-1-1-2 寄居地域気象観測所における月別風向頻度 (令和 2 年)

(2) 大気質の状況

1) 一般環境大気状況

関係町村内の大気汚染常時監視測定局は、表 3-1-1-6 及び図 3-1-1-3 に示すとおり、一般環境大気測定局（一般局）3 局、自動車排出ガス測定局（自排局）1 局が設置されている。令和元年度における各項目の測定結果は表 3-1-1-7 に示すとおり、二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素、浮遊粒子状物質、微小粒子状物質、ダイオキシン類は全測定局で環境基準又は指針に適合したが、光化学オキシダントの全測定局、炭化水素の東秩父局で環境基準又は指針と不適合であった。

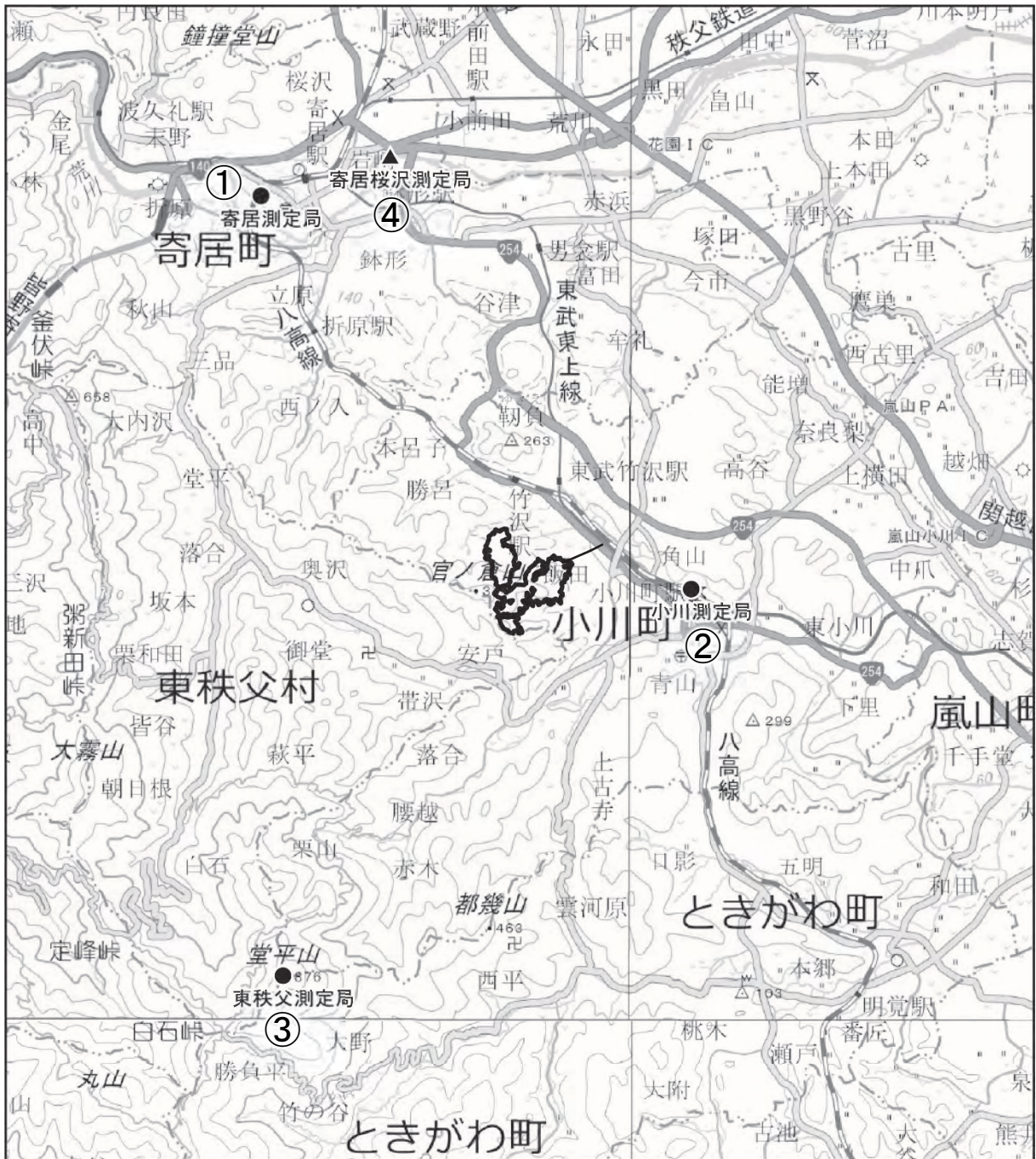
また、過去 5 年間（平成 27 年度～令和元年度）における各項目の年平均値の推移は表 3-1-1-8 に示すとおりである。

表 3-1-1-6 大気汚染常時監視測定局と測定項目

図中 番号	測定局名	測定 場所	所在地	局 種別	二酸 化硫 黄	二酸 化窒 素	一酸 化炭 素	光化 学オ キシ ダント	浮遊 粒子 状物 質	微小 粒子 状物 質	非メ タン 炭化 水素	ダイ オキ シン 類
①	寄居	寄居 小学校	寄居町 寄居 206	一般 局	○	○		○	○	○		
②	小川	小川 高等学校	小川町 大塚 1105	一般 局		○		○	○	○		○
③	東秩父	堂平山	東秩父 村白石 601-2	一般 局	○	○	○	○	○	○	○	
④	寄居桜沢	国有地	寄居町 桜沢 234-3	自排 局		○			○	○	○	

注：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

出典：「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）  
「大気環境調査結果」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）



凡 例

- 対象事業実施区域及び関連施設
- 市町村界
- 一般環境大気測定局
- 自動車排出ガス測定局

N



1:100,000

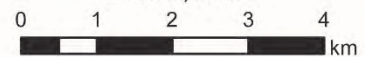


図 3-1-1-3

大気汚染常時監視測定局

注：図中番号は、表 3-1-1-6、表 3-1-1-7、表 3-1-1-8 に対応する。

表 3-1-1-7(1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) の測定結果 (令和元年度)

図中 番号	測定局名	年平均値	1時間 値が 0.10ppm を越え た時間	1日平 均値が 0.04ppm を越え た日数	1時間 値の 最高値	日平均 値の年 間2% 除外値	日平均値 が 0.04ppm を越え た日 が2日 以上連 続し たこ との有 無	環境基準	
								長期的 評価	短期的 評価
		(ppm)	(時間)	(日)	(ppm)	(ppm)	(有・無)	(適否)	
①	寄居	0.002	0	0	0.008	0.004	無	○	○
③	東秩父	0.001 未満	0	0	0.004	0.002	無	○	○

注1: 図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

注2: 二酸化硫黄(SO<sub>2</sub>)の環境基準は、1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること(昭和48年5月16日告示)。

出典: 「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」(令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課HP)

表 3-1-1-7(2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) の測定結果 (令和元年度)

図中 番号	測定局名	年平均値	日平均 値が 0.06ppm を越え た日 数	日平均 値が 0.04ppm 以上 0.06ppm 以下の 日 数	1時間 値の 最高 値	日平均 値の 年間 98% 値	環境基準
①	寄居	0.004	0	0	0.030	0.009	○
②	小川	0.005	0	0	0.029	0.012	○
③	東秩父	0.003	0	0	0.030	0.007	○
④	寄居桜沢	0.010	0	0	0.045	0.018	○

注1: 図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

注2: 二酸化窒素(NO<sub>2</sub>)の環境基準は、1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること(昭和53年7月11日告示)。

出典: 「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」(令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課HP)

表 3-1-1-7(3) 一酸化炭素 (CO) の測定結果 (令和元年度)

図中 番号	測定 局名	年 平均 値	8時間 平均 値が 20ppm を越 え た回 数	日平均 値が 10ppm を越 え た 日 数	1時間 値の 最高 値	日平均 値の2% 除外 値	日平均 値が 10ppm を越 え た 日 が2日 以上 連続 した こと の有 無	環境基準	
								長期的 評価	短期的 評価
		(ppm)	(日)	(日)	(ppm)	(ppm)	(有・無)	(適否)	
③	東秩父	0.2	0	0	0.6	0.4	無	○	○

注1: 図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

注2: 一酸化炭素(CO)の環境基準は、1時間値の1日平均値が10ppm以下であり、かつ、1時間値の8時間平均値が20ppm以下であること(昭和48年5月8日告示)。

出典: 「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」(令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課HP)



表 3-1-1-7(4) 光化学オキシダント (Ox) の測定結果 (令和元年度)

図中 番号	測定局名	昼間の1 時間値の 年平均値	昼間の1時間値が 0.06ppmを超えた日 数と時間数		昼間の1時間値が 0.12ppm以上の日数 と時間数		環境基準
		(ppm)	(日)	(時間)	(日)	(時間)	(適否)
①	寄居	0.034	95	497	1	1	×
②	小川	0.033	91	501	0	0	×
③	東秩父	0.039	79	442	0	0	×

注1: 図中番号は、図 3-1-1-3に対応する。

注2: 光化学オキシダント(Ox)の環境基準は、1時間値が0.06ppm以下であること(昭和48年5月8日告示)。

出典: 「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」(令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課HP)

表 3-1-1-7(5) 浮遊粒子状物質 (SPM) の測定結果 (令和元年度)

図中 番号	測定 局名	年 平均値	1時間 値が 0.20mg /m <sup>3</sup> を超 えた 時間 数	日平 均値 が 0.10mg /m <sup>3</sup> を超 えた 日数	1時間 値の 最高値	日平均 値の 年間 2% 除外値	日平均 値が 0.10mg /m <sup>3</sup> を超 えた 日が2 日以上 連続し たこと の有無	環境基準	
			(mg/m <sup>3</sup> )	(時 間)	(日)	(mg/m <sup>3</sup> )	(mg/m <sup>3</sup> )	(有・ 無)	長期的 評価
①	寄居	0.015	0	0	0.095	0.045	無	○	○
②	小川	0.013	0	0	0.090	0.039	無	○	○
③	東秩父	0.009	0	0	0.050	0.029	無	○	○
④	寄居桜沢	0.015	0	0	0.159	0.037	無	○	○

注1: 図中番号は、図 3-1-1-3に対応する。

注2: 浮遊粒子状物質(SPM)の環境基準は、1時間値の1日平均値が0.10mg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m<sup>3</sup>以下であること(昭和48年5月8日告示)。

出典: 「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」(令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課HP)

表 3-1-1-7(6) 微小粒子状物質 (PM2.5) の測定結果 (令和元年度)

図中 番号	測定局名	年平均値	日平均値の 年間98% 値	日平均値が35μg/m <sup>3</sup> を超えた日数		環境基準	
		(μg/m <sup>3</sup> )	(μg/m <sup>3</sup> )	(日)	(%)	長期基準	短期基準
①	寄居	9.5	28.2	1	0.3	○	○
②	小川	9.5	23.8	1	0.3	○	○
③	東秩父	7.4	24.2	0	0.0	○	○
④	寄居桜沢	9.8	24.2	0	0.0	○	○

注1: 図中番号は、図 3-1-1-3に対応する。

注2: 微小粒子状物質(PM2.5)の環境基準は、1年平均値が15μg/m<sup>3</sup>以下であり、かつ、1日平均値が35μg/m<sup>3</sup>以下であること(平成21年9月9日告示)。

出典: 「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」(令和2年12月、埼玉県環境部大気環境課HP)

表 3-1-1-7(7) 非メタン炭化水素 (NMHC) の測定結果 (令和元年度)

図中 番号	測定局名	年平均値	6～9 時 の測定 日数	6～9 時 における 年平均 値	6～9 時の 3 時間平 均値が 0.20ppmC を超えた 日数	6～9 時の 3 時間平 均値が 0.31ppmC を超えた 日数	指針との比較  (適否)
		(ppmC)	(日)	(ppmC)	(日)	(日)	
①	寄居	—	—	—	—	—	—
③	東秩父	0.05	334	0.04	1	1	×
④	寄居桜沢	0.10	358	0.09	7	0	○

注1：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

注2：数値欄に「—」の表示がある場合は、測定されていないことを示す。

注3：非メタン炭化水素 (NMHC) の国の指針値は、6～9 時の 3 時間平均値が 0.20～0.31ppmC の範囲内（「6～9 時の 3 時間平均値が 0.31ppmC を超えた日数」が 0 であること）。

出典：「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 3-1-1-7(8) ダイオキシン類の測定結果 (令和元年度)

調査地点		調査結果 (pg-TEQ/m <sup>3</sup> )			環境基準
図中番号	測定局名	夏季	冬季	年平均値	(適否)
②	小川	0.014	0.012	0.013	○

注1：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

注2：ダイオキシン類の環境基準は、年間平均値が 0.6pg-TEQ/m<sup>3</sup> 以下であること。

出典：「令和元年度ダイオキシン類大気常時監視結果」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 3-1-1-8(1) 二酸化硫黄 (SO<sub>2</sub>) の年平均値の推移(平成 27 年度～令和元年度)

図中 番号	測定局名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
		(ppm)				
①	寄居	0.001 未満	0.001	0.001	0.001	0.002
③	東秩父	0.001	0.001	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満

注：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

出典：「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 3-1-1-8(2) 二酸化窒素 (NO<sub>2</sub>) の年平均値の推移(平成 27 年度～令和元年度)

図中 番号	測定局名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
		(ppm)				
①	寄居	0.006	0.006	0.005	0.004	0.004
②	小川	0.008	0.007	0.007	0.006	0.005
③	東秩父	0.003	0.003	0.004	0.003	0.003
④	寄居桜沢	0.012	0.012	0.011	0.010	0.010

注：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

出典：「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 3-1-1-8(3) 一酸化炭素 (CO) の年平均値の推移(平成 27 年度～令和元年度)

図中 番号	測定局名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
		(ppm)				
③	東秩父	0.2	0.2	0.2	0.2	0.2

注：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

出典：「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 3-1-1-8(4) 光化学オキシダント (Ox) の年平均値の推移(平成 27 年度～令和元年度)

図中 番号	測定 局名	昼間の 1 時間値が 0.12ppm 以上の日数(日)					昼間の 1 時間値が 0.06ppm を 超えた時間数(時間)					昼間の 1 時間値の最高値(ppm)				
		H27	H28	H29	H30	R1	H27	H28	H29	H30	R1	H27	H28	H29	H30	R1
		①	寄居	1	1	6	1	1	558	493	621	573	497	0.124	0.129	0.146
②	小川	3	1	5	1	0	586	497	605	640	501	0.136	0.133	0.149	0.136	0.119
③	東秩父	6	0	3	1	0	623	364	542	509	442	0.136	0.113	0.148	0.120	0.116

注：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

出典：「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 3-1-1-8(5) 浮遊粒子状物質 (SPM) の年平均値の推移(平成 27 年度～令和元年度)

図中 番号	測定局名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
		(mg/m <sup>3</sup> )				
①	寄居	0.018	0.016	0.015	0.016	0.015
②	小川	0.017	0.014	0.014	0.015	0.013
③	東秩父	0.013	0.011	0.011	0.011	0.009
④	寄居桜沢	0.020	0.017	0.015	0.016	0.015

注：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

出典：「令和元年度大気汚染常時監視測定結果報告書」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 3-1-1-8(6) 微小粒子状物質 (PM2.5) の年平均値の推移(平成 27 年度～令和元年度)

図中 番号	測定局名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
		(μg/m <sup>3</sup> )				
①	寄居	11.7	10.4	10.6	11.2	9.5
②	小川	12.8	11.3	10.8	11.3	9.5
③	東秩父	8.8	7.6	8.0	8.0	7.4
④	寄居桜沢	—	—	(12.8)	11.3	9.8

注 1：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

注 2：各年度の数値欄に「—」の表示がある場合は、測定されていないことを示す。

注 3：年度を通じて有効測定日数が 250 日に達しない場合は、かっこ内に示した。

出典：「令和元年度大気汚染常時監視測定結果」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 3-1-1-8(7) 非メタン炭化水素素 (NMHC) の年平均値の推移(平成 27 年度～令和元年度)

図中 番号	測定局名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
		(ppmC)				
①	寄居	0.03	0.03	0.05	0.15	—
③	東秩父	0.02	0.03	0.03	0.03	0.04
④	寄居桜沢	0.05	0.06	0.08	0.09	0.09

注 1：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

注 2：各年度の数値欄に「—」の表示がある場合は、測定されていないことを示す。

注 3：非メタン炭化水素素 (NMHC) の年平均値は、6～9 時における年平均値 (ppmC) を示す。

出典：「令和元年度大気汚染常時監視測定結果」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

表 3-1-1-8(8) ダイオキシン類の年平均値の推移(平成 27 年度～令和元年度)

図中 番号	測定局名	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
		(pg-TEQ/m <sup>3</sup> )				
②	小川	0.026	0.013	0.018	0.011	0.013

注：図中番号は、図 3-1-1-3 に対応する。

出典：「平成 27 年度～令和元年度ダイオキシン類大気常時監視結果」（令和 2 年 12 月、埼玉県環境部大気環境課 HP）

## 2) 大気質にかかる苦情の発生状況

関係町村の公害苦情件数は、表 3-1-1-9 に示すとおりである。

対象事業実施区域が位置する小川町において、大気汚染に関する公害苦情は6件であった。

表 3-1-1-9 公害苦情件数（令和元年度）

町村名	典型七公害							その他	合計
	大気汚染	水質汚濁	土壌汚染	騒音	振動	地盤沈下	悪臭		
小川町	6	1	0	0	0	0	0	18	25
ときがわ町	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東秩父村	0	0	0	0	0	0	0	0	0
寄居町	-	-	-	-	-	-	-	-	-

注1：ときがわ町は件数の取りまとめを行っていない。

注2：寄居町は件数の公表を行っていない。

出典：小川町環境農林課ヒアリング

：ときがわ町建設環境課ヒアリング

：東秩父村保健衛生課ヒアリング

：寄居町生活環境エコタウン課ヒアリング

(3) 騒音の状況

1) 道路交通騒音及び環境騒音の状況

対象事業実施区域及びその周辺における平成 30 年度の道路交通騒音の点的評価結果は表 3-1-1-10 に、面的評価結果は表 3-1-1-11 に、道路交通騒音の調査地点は図 3-1-1-4 に示すとおりである。

点的評価では、4 地点中 2 地点で環境基準を超過していた。

また、面的評価では、一般国道 254 号線において昼間、夜間ともに基準値を超過する戸数が存在する。

表 3-1-1-10 道路交通騒音の点的評価結果（平成 30 年度）

図中番号	路線名	測定地点の住所	環境基準類型	車線数合計	等価騒音レベル(dB)				環境基準適合状況
					昼間	環境基準達成	夜間	環境基準達成	
1	一般国道 254 号	小川町小川 344	B	2	66	○ (70)	60	○ (65)	○
2	一般国道 254 号	小川町勝呂 799	B	2	70	○ (70)	67	× (65)	×
3	一般国道 254 号 (バイパス)	小川町上横田 966	B	2	69	○ (70)	66	× (65)	×
4	県道熊谷小川秩父線	小川町腰越 43	C	2	66	○ (70)	61	○ (65)	○

注 1：図中番号は、図 3-1-1-4 に対応する。

注 2：環境基準達成欄の ( ) 内の数値は当該地点における環境基準値を示す。

出典：「平成 30 年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（令和 2 年 4 月、埼玉県環境部水環境課 HP）

表 3-1-1-11 道路交通騒音の面的評価結果（平成 30 年度）

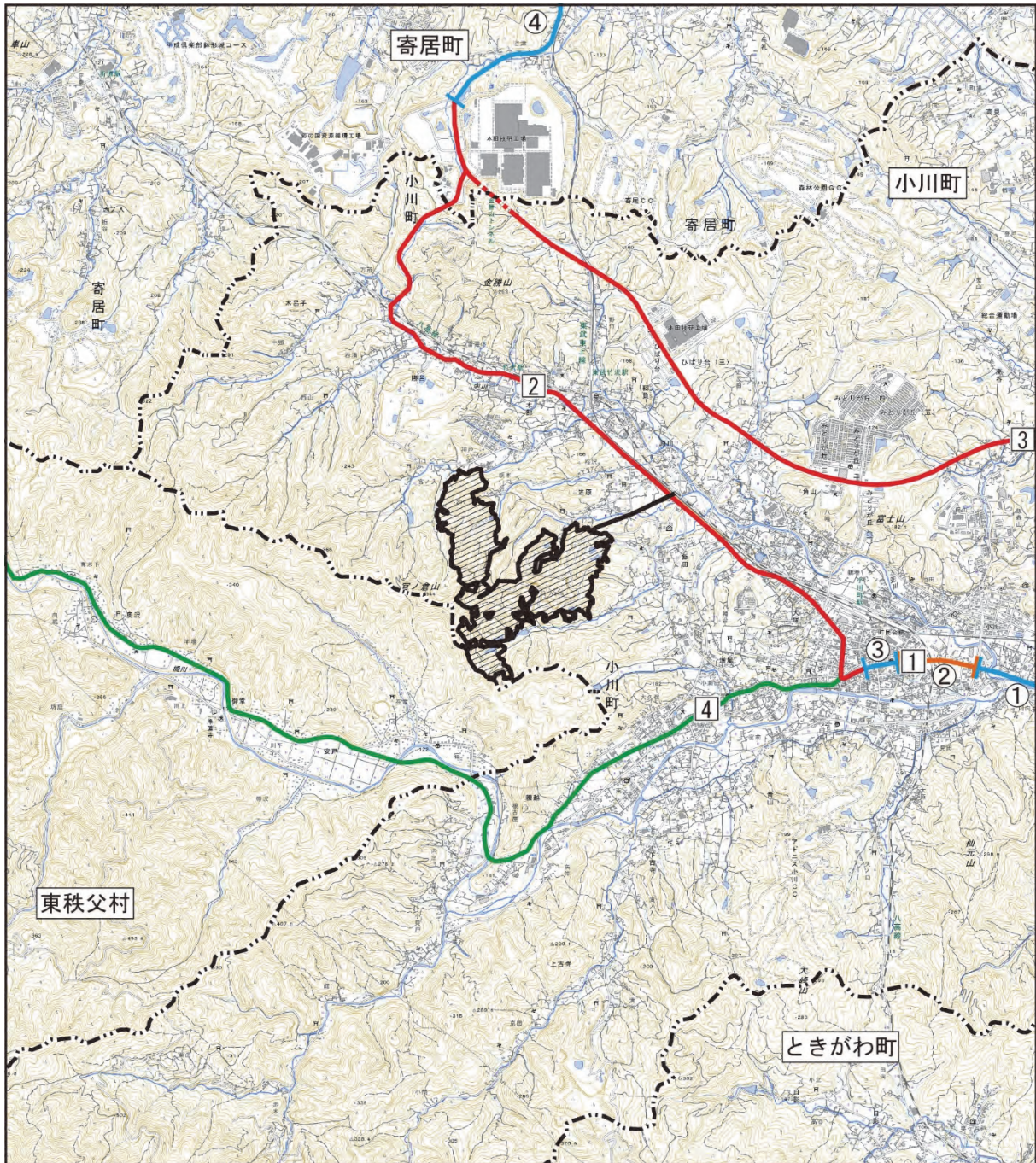
図中番号	評価対象道路	評価区間の始点の住所	評価区間の終点の住所	評価の区延間長 (km)	測定地点における等価騒音レベル(dB)		評価対象住居等戸数 a=b+c+d+e (戸)	昼間・夜間とも基準値以下 b (戸)	昼間のみ基準値以下 c (戸)	夜間のみ基準値以下 d (戸)	昼間夜間とも基準値超過 e (戸)
					昼間	夜間					
①	一般国道 254 号	比企郡小川町大字小川	比企郡小川町大字小川	0.8	—	—	57	54	0	0	3
②	一般国道 254 号	比企郡小川町大字小川	比企郡小川町大字小川	0.5	—	—	110	110	0	0	0
③	一般国道 254 号	比企郡小川町大字小川	比企郡小川町大字小川	0.4	66	60	172	139	0	33	0
④	一般国道 254 号	大里郡寄居町大字富田	大里郡寄居町大字露梨子	3.4	71	69	201	140	60	0	1

注：図中番号は、図 3-1-1-4 に対応する。





出典：「平成 30 年度自動車交通騒音・道路交通振動実態調査結果」（令和 2 年 4 月、埼玉県環境部水環境課 HP）

## 2) 騒音にかかる苦情の発生状況

対象事業実施区域が位置する小川町において、令和元年度における騒音に関する公害苦情はなかった（表 3-1-1-9 参照）。



凡 例

-  対象事業実施区域及び関連施設
-  町村界
-  騒音(点的評価)調査地点
-  騒音(面的評価)調査地点

N



1:50,000

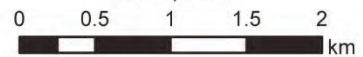


図 3-1-1-4

道路交通騒音調査地点

注：図中の番号は、表 3-1-1-10、表 3-1-1-11 に対応。

出典：「平成 27 年度一般交通量図」

(平成 30 年 2 月、埼玉県県土整備部県土整備政策課)



(4) 振動の状況

1) 道路交通振動の状況

対象事業実施区域及びその周辺において、道路交通振動の調査について公表された測定結果はない。

2) 振動にかかる苦情の発生状況

対象事業実施区域が位置する小川町において、令和元年度における振動に関する公害苦情はなかった（表 3-1-1-9 参照）。

(5) 悪臭の状況

1) 悪臭の状況

対象事業実施区域及びその周辺において、悪臭の調査について公表された測定結果はない。

2) 悪臭にかかる苦情の発生状況

対象事業実施区域が位置する小川町において、令和元年度における悪臭に関する公害苦情はなかった（表 3-1-1-9 参照）。

### 3-1-2 水環境の状況

#### (1) 水象の状況

##### 1) 河川の状況

対象事業実施区域及びその周辺において、一級河川としては対象事業実施区域の南側に槻川が、北側に兜川が流れている。対象事業実施区域及びその周辺における河川の状況は、図 3-1-2-1 に示すとおりである。

表 3-1-2-1 河川一覧

水系	区分	河川名	河川延長 (m)	下流端
荒川	一級河川	槻川	49,798	都幾川への合流点
		兜川	13,800	槻川への合流点
		館川	4,200	
		市野川	76,304	荒川への合流点
		新川	5,200	市野川への合流点
	普通河川	木呂子川	3,251	兜川への合流点
		西浦川	1,853	
		木部川	2,703	
		桜沢川	1,177	
		笠原川	1,130	
		飯田川	1,816	
		打越川	1,096	
		小瀬田川	1,433	
		入山川	4,465	

出典：河川指定調書（東松山県土整備事務所ヒアリング）

##### 2) 湧水の状況

対象事業実施区域及びその周辺において、「名水百選」（昭和 60 年 環境省）に選定された湧水は存在しない。「湧水保全ポータルサイト」（令和元年度 環境省）の代表的な湧水、「電子版埼玉県湧水地マップ」（2020 年 4 月 埼玉県）に主な湧水地として、東秩父村の「観音水」が選定されている。また、「平成 28 年度 湧水地調査報告書」（平成 29 年 埼玉県）における調査地点には、「観音水」の他に小川町下里の湧水地（非公表）、東秩父村の「入山川茶の口湧水」が選定されている。位置は図 3-1-2-1 に示すとおりである。

表 3-1-2-2 湧水一覧

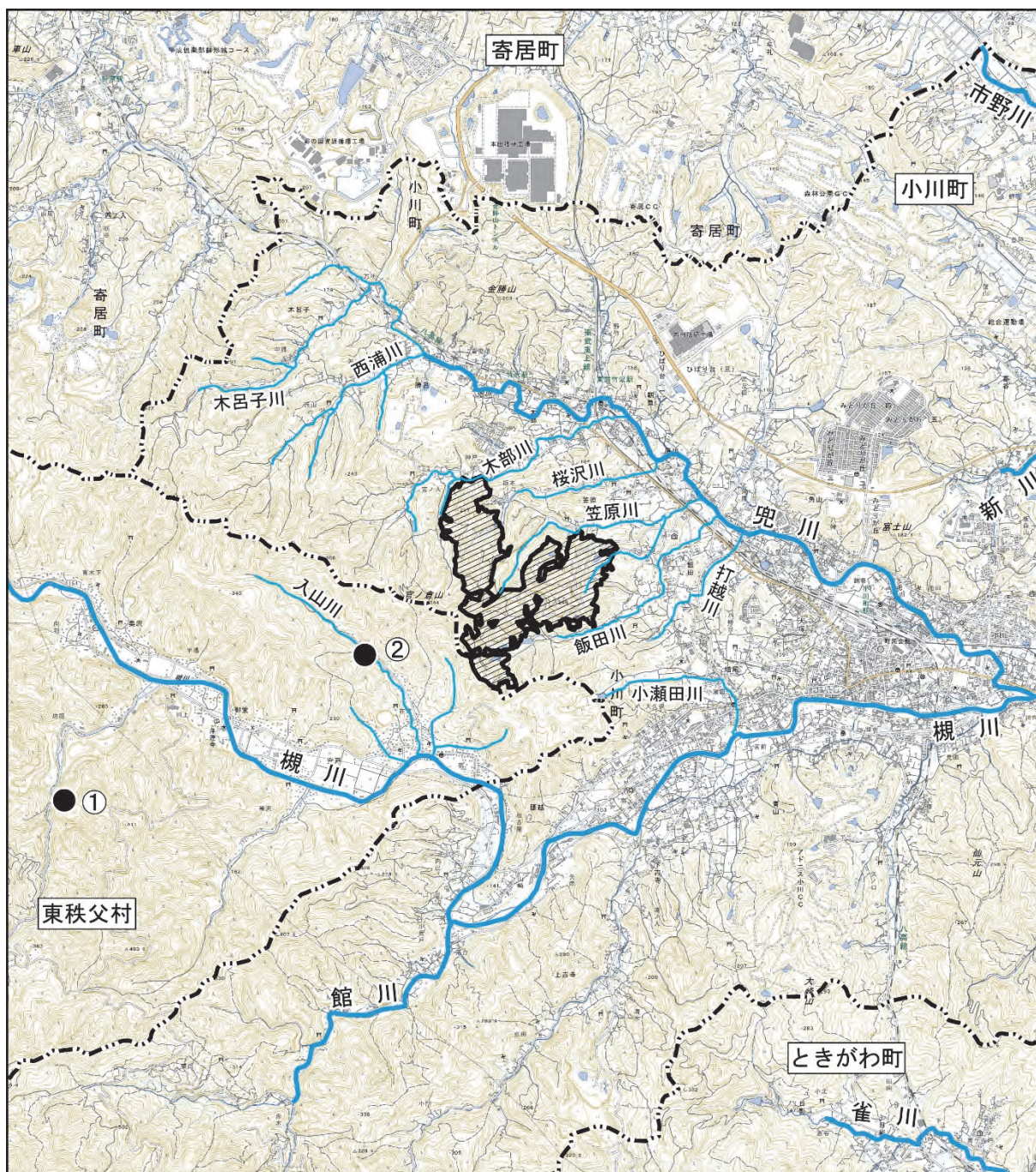
No	湧水名称	所在地	備考
1	観音水	東秩父村御堂	上流にある堰堤から管を使って引水している。
2	入山川茶の口湧水	東秩父村安戸	近隣住民により保全されている。
3	非公表	小川町下里	名称及び所在地は非公表。

出典：平成の名水百選（平成 20 年 環境省）






：湧水保全ポータルサイト（令和元年度 環境省）

：電子版埼玉県湧水地マップ（令和 2 年 4 月 埼玉県）

：平成 28 年度 湧水地調査報告書（比企地域 4 町村及び和光市白子湧水群）  
（平成 28 年、埼玉県）



凡 例

-  対象事業実施区域及び関連施設
-  町村界
-  一級河川
-  河川
-  湧水

注1：湧水(番号は表 3-1-2-2 に対応)

出典：国土数値情報ダウンロードサービス

(平成 20 年度 国土交通省)

：平成の名水百選 (平成 20 年 環境省)

：湧水保全ポータルサイト (令和元年度 環境省)

：電子版埼玉県湧水地マップ (令和 2 年 4 月 埼玉県)

：平成 28 年度 湧水地調査報告書 (比企地域 4 町村及び和光市

白子湧水群) (平成 28 年度 埼玉県)



1:50,000

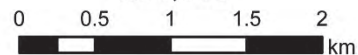


図 3-1-2-1

河川及び湧水位置

### 3) 水道等の利用状況

関係町村における上水道の状況は、表 3-1-2-3 に示すとおりである。対象事業実施区域が位置する小川町の平成 29 年度における上水道普及率は 98.8%となっている。

また、対象事業実施区域及びその周辺における水道の水源は、表 3-1-2-4 に示すとおりである。小川町では 5 つの水源が存在し、ときがわ町では 3 つ、東秩父村では 8 つ、寄居町では 3 つの水源が存在している。小川町の水源の位置は図 3-1-2-2、小川町以外周辺町村の水源の位置は図 3-1-2-3 に示すとおりである。

表 3-1-2-3 上水道の状況（平成 29 年度）

町村名	行政区域内 総人口(人)	上水道		簡易水道		普及率(%)
		計画給水 人口(人)	現在給水 人口(人)	計画給水 人口(人)	現在給水 人口(人)	
小川町	29,891	43,200	29,543	0	0	98.8
ときがわ町	10,984	13,100	10,606	490	310	99.4
東秩父村	2,723	0	0	3,510	2,713	99.6
寄居町	33,015	36,563	32,567	700	423	99.9

出典：「埼玉県の水道 平成 30 年度版」（平成 31 年 3 月、埼玉県保健医療部生活衛生課）

表 3-1-2-4 4 町村(小川町、ときがわ町、東秩父村、寄居町)における水源一覧表

町村	水源
小川町	①館川水源（表流水）
	②槻川水源（伏流水）
	③青山水源（地下水）
	④増尾水源（地下水）
	⑤古寺水源（地下水）
ときがわ町	⑥七重川水源（表流水）
	⑦泉川水源（伏流水）
	⑧西平水源（地下水）
東秩父村	⑨細山川水源（表流水）
	⑩萩平川水源（表流水）
	⑪帯沢川水源（表流水）
	⑫入山川水源（表流水）
	⑬幽池ヶ沢水源（表流水）
	⑭堂平・白石地区浄水場内取水井（浅井戸）
	⑮大宝浄水場内取水井（浅井戸）
	⑯上ノ貝戸浄水場取水井（浅井戸）
寄居町	⑰荒川水源：象ヶ鼻浄水場、折原浄水場
	⑱荒川水系釜伏川水源：金尾浄水場、風布浄水場
	⑲利根川水源：寄居配水場、男衾配水場

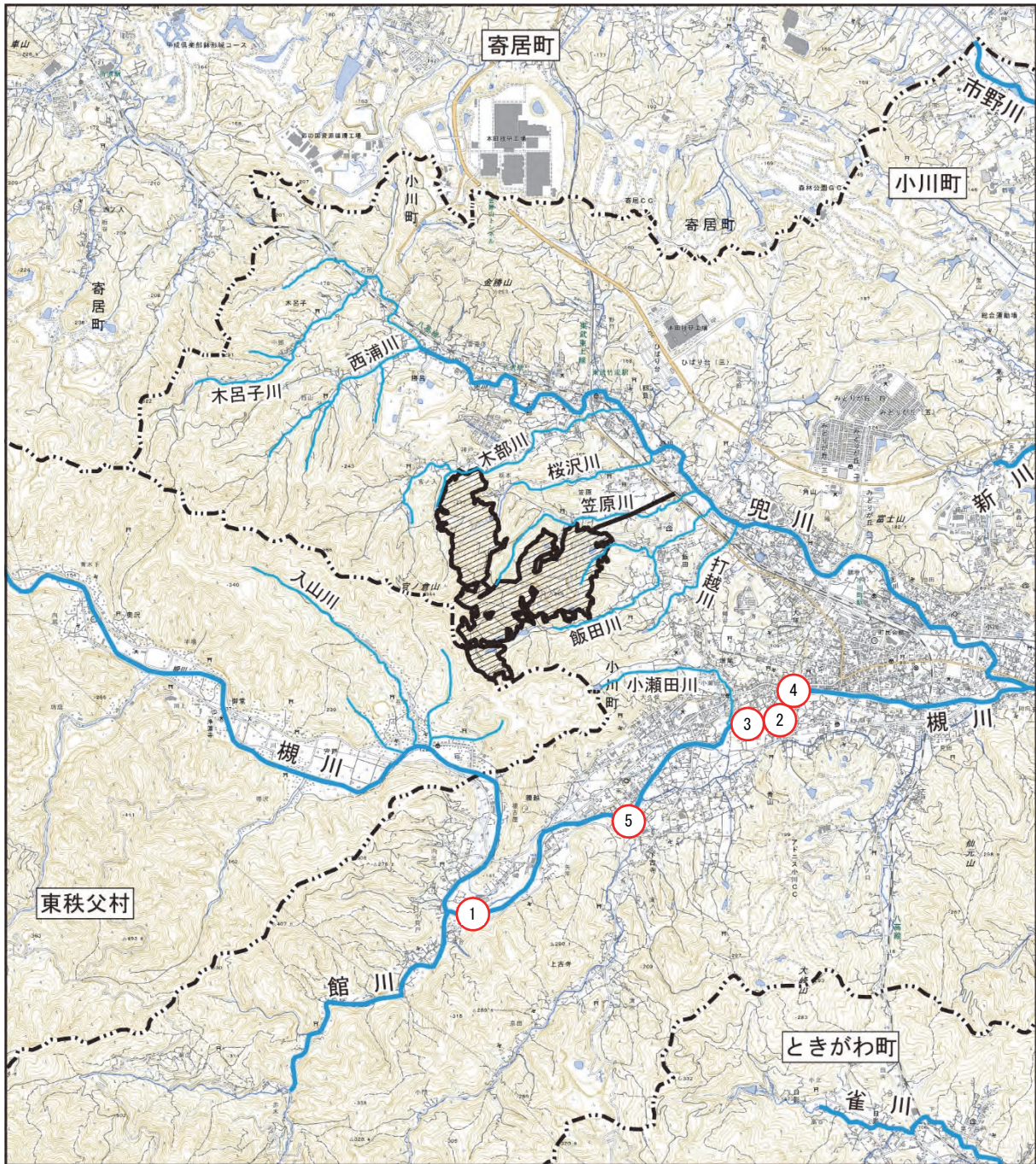
注 1：県水の水源は除く。

出典：小川町水道事業ビジョン（平成 27 年 3 月、小川町上下水道課）






：ときがわ町水安全計画（平成 23 年 10 月、ときがわ町水道課）

：令和 2 年度水質検査計画（令和 2 年 7 月、東秩父村建設課）

：令和 2 年度寄居町水質検査計画（令和 2 年 7 月、寄居町上下水道課）



凡 例

-  対象事業実施区域及び関連施設
-  町村界
-  一級河川
-  河川
-  水源



1:50,000

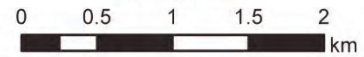


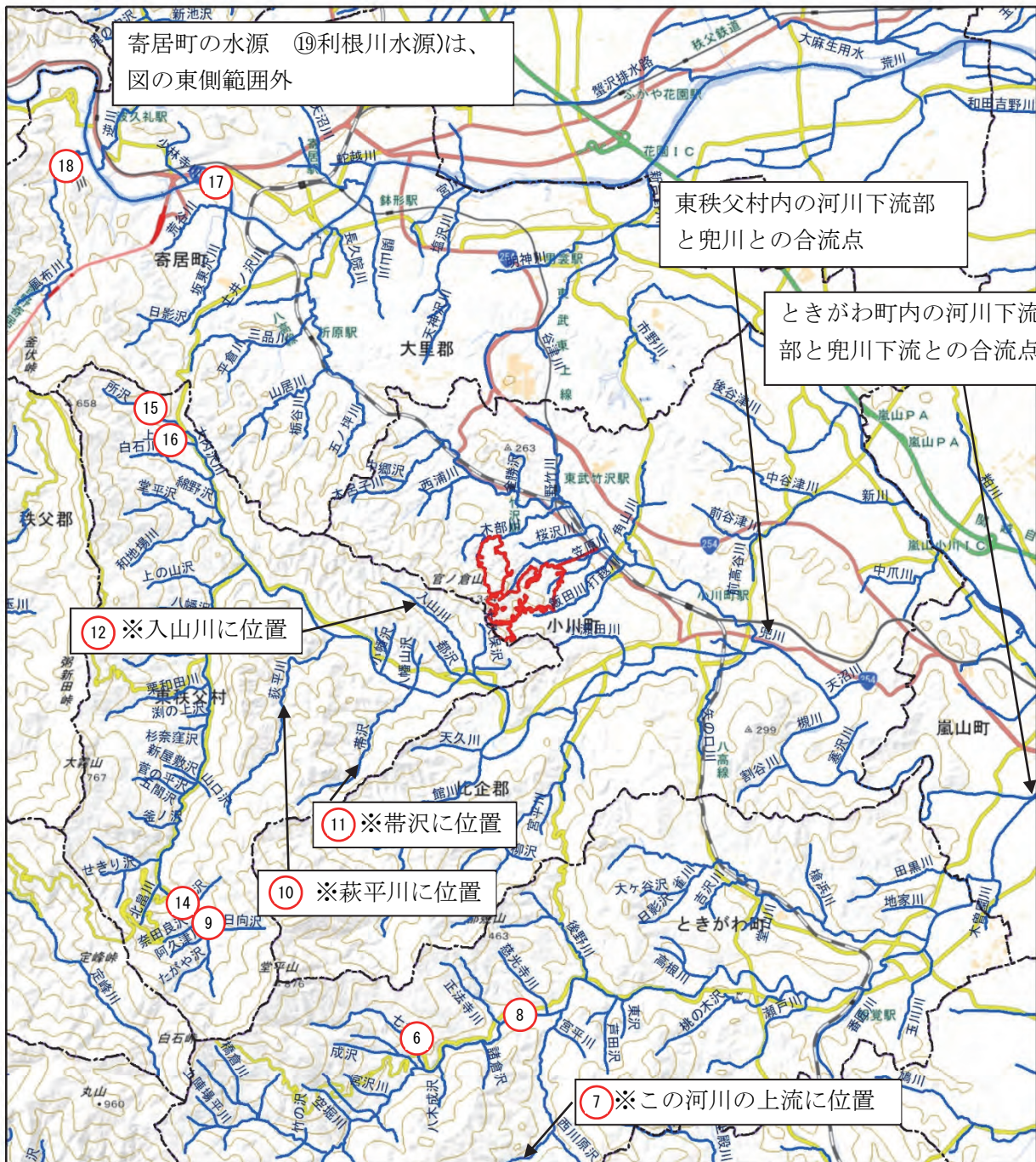
図 3-1-2-2

水源位置図（小川町）

注1：水源の番号は、表 3-1-2-4 に対応している。

出典：小川町水道事業ビジョン

（平成 27 年 3 月、小川町上下水道課）



凡 例

対象事業実施区域及び関連施設

----- 町村界

— 河川

① 水源

※：詳細な所在地が不明、表示域外の水源

13「池ヶ沢水源」は、所在地不明であるが、東秩父村内（兜川の水が流入しない流域）に位置する。

注1：水源の番号は、表 3-1-2-4 に対応している。

出典：「河川・砂防図」（平成 28 年 6 月、東松山県土整備事務所）



1:100,000

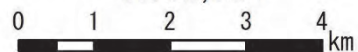


図 3-1-2-3

水源位置図

(小川町以外周辺町村)